

正しい「脱毛機/ IPL光複合機」の選び方

世には、多くの「IPL光複合機」が販売されています。

「IPL光複合機」とは、ご存知のように「レーザー」に変わり、光を照射して、複合的に、「フェイシャル」や「脱毛」または「バストアップ」をはかる機器です。

メーカーや、販売店の「上手なセールストーク」で、ついつい「購入」してしまい。後あと、効果の面や、価格の面で、「失望」しないように、選び方のポイントをいくつか挙げておきます。

価格

まず、導入するにあたって一番気になるのが「価格」です。

今や、機器の購入金額をすぐさま償却できるほど、市場は活発化しておりません。

では、なるべく「安い」機器を購入したいという気持ちは誰しも持ちます。

しかし、「安ければ」「効果」もさほど期待出来ません。

また、逆に「高ければ高性能」か？と言うと、その期待感に便乗して、セールスマンは「とても高い機器だから、高性能です」と、言う「セールストーク」で販売のチャンスに駆けよとします。

価格は、「適正価格」でなくてはなりません。

私の考える「適正価格」とは、「200万円前後」と考えます。

これ以上の、価格であれば「付加価値」が必要になります。

例えば、「冷却装置付き」とか、IPLにRFを付随させた「フォト+RF（オーロラ）」です。

最低機能

購入したは良いが、効果が他店と同じ、又はそれより劣る・・・では、お客さんからは「苦情」の連続です。

その結果、サロン経営は上手くいかず、機器購入の償却すら出来ない・・・という状況になります。（絶対避けなければなりません！）

上から順に「絶対必要な最低条件」です。

1：ハンドピースは、「脱毛用」「フェイシャル用」と個別になくはない！

機器によっては、脱毛&フェイシャル兼用のハンドピースを採用している物もありますが、全くもって「別次元」です。

脱毛用の波長は、610nm（ナノメートル）以下をカットしなくては、「火傷」の

危険性が増すし、フェイシャル用の波長は、530nm以下をカットして、色素への吸収を増さなくてはなりません。

それぞれ、用途が違うので、必ず最低でも2種類のハンドピースが必要です。

1つしか、ハンドピースがない機器は結果においても「不満足」な結果しか得られません。

中には、ハンドピース先端のクリスタル部分に「波長変換」のアタッチメントが付いていて、そのアタッチメントを取り換える事で、「カット波長を自在に変換できる！」と言う機器もありますが、必ずしも「有効」ではありません。それについては、「3」の項目にて解説します。

2：患部冷却装置

患部冷却装置とは、直接皮膚に当たる部分（クリスタル先端）が、最低でもマイナス1度くらい（クリスタル部分に霜があります）に、冷却されなくてはなりません。これによって、「火傷」の危険性を最大限に回避します。

東京都の安全基準でも「義務」づけられています。

「冷却ジェルで冷やすから安心」とか、「照射時にアイスパックで皮膚を冷やすから」と言われて、それを「鵜呑み」にしないで下さい。

皮膚温（36度前）によって、すぐ「温まります」！

しかも、連続して照射していればクリスタル部分にも「熱」が帯び、さらに「火傷」の危険性は増します。

機器によっては、熱エネルギーが弱いから「火傷」の危険性はありません！と言うのもあるようですが、熱エネルギーが弱ければ、満足の行く「結果」は得られません。**せいぜい、「脇の太い毛」くらいしか、脱毛出来ません！**

3：クリスタルが皮膚に密着出来る事

熱エネルギーは、皮膚を介して奥に到達します。

その際、ターゲットとなる色素は脱毛やフェイシャルによって違います。

例えば、脱毛であれば、毛根部分の「メラニン色素」をターゲットとします。

又、フェイシャル用であれば「皮膚表面のメラニン色素」や、「血管内の赤血球」をターゲットとします。

その際、ターゲット以外の色素などにエネルギーを取られてしまつては、効果が半減します。

脱毛で、毛包内のメラニンに熱エネルギーを伝えたいにもかかわらず、それ以外の「皮膚表面のメラニン色素」や「血管内の赤血球」に熱エネルギーを奪われないようにしなくてははいけません。

仮に、脱毛を行いたいのであれば、「赤血球」へ熱エネルギーを奪われないように

する為に、**皮膚にクリスタルを密着させ、押し付ける事で、その部分の血管内から赤血球が押し出され、毛包内のメラニンに十分な熱エネルギーを送り込む事が出来ます。**

ですから、クリスタルは絶対に皮膚に密着させる事が出来る事が条件です。

この、考え方からすれば、クリスタル部分に空洞があって皮膚に密着出来ない構造であれば、効果も十分ではないという事です。

さらに、アタッチメントを変える機器であっても、皮膚に密着出来なければ、同じように効果も十分ではありません。

以上の条件は、最低条件です。

これらの条件が兼ね備わっていない機器は、お客さんに満足の行く結果を出せるとは私は思いません。

今後、機器の購入を検討するのであれば、「参考」にして下さい。